

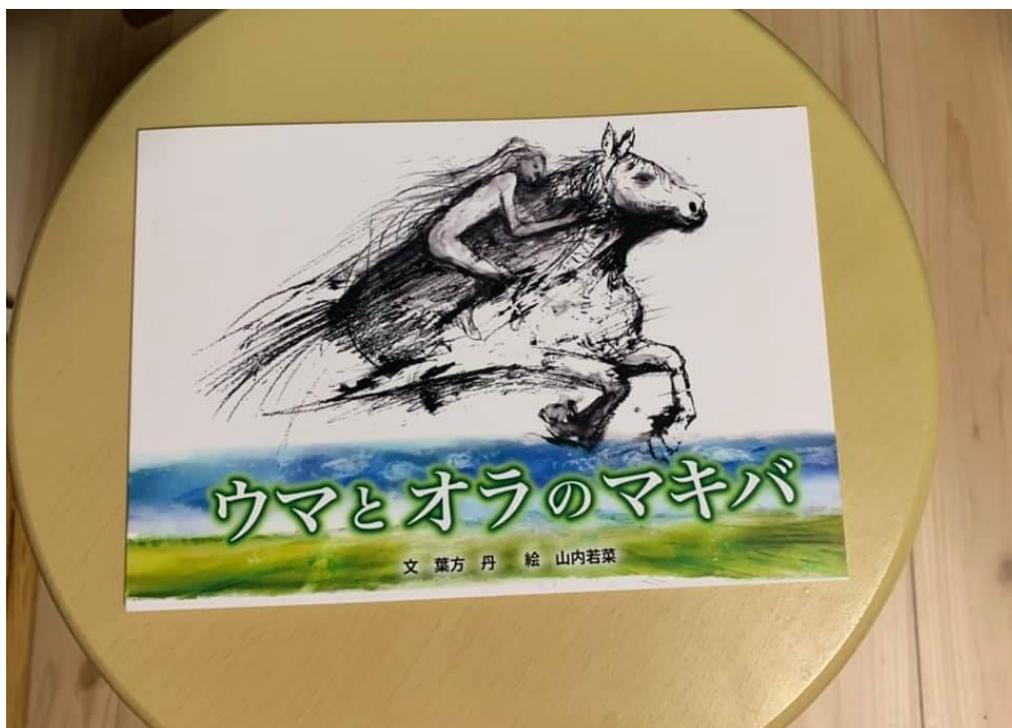
絵本 ～ウマとオラのマキバ～

福島県飯館村に100年続く牧場があります。
細川さん親娘が60頭ほどの馬を育てています。
娘の美和さんは生まれた時から馬と一緒に生活でした。まるで兄妹のように育ってきました。

2011年、東日本大震災。
飯館村は原発の爆発による放射能汚染で、人が住めない村になりました。
「私たちが逃げれば馬は死ぬ」
馬とともに生きてきたものとして、村にとどまるのは当然のことでした。

この絵本の絵を担当する山内若菜は、震災当初から飯館に数十回も足を運び、
細川さん親娘と馬と牧場を見つめてきました。
そこで彼女が描こうとしたのは「いのち」の輝きと繋がりでした。

来年は大震災から10年を迎えます。
忘れてはならないこと。なによりも大切な「いのち」のこと。
マキバを舞台に、ウマとヒトの交情を通して伝えたいと思います。



絵—山内若菜

1997年 神奈川県藤沢市生まれ

1998年 武蔵野美術大学短期大学部美術科専攻科修了

<主な展覧会>ロシア国立極東美術館個展-牧場・山内若菜展、原爆の図丸木美術館 個展-他多数



馬の大きな絵 展示のお知らせ

6月15、16日の二日間だけなのですが、地元藤沢市で展示します。馬の版画作品がたくさん並び3000円で購入頂けます。また、4mの馬作品が二作並んで馬好きの方にはおすすめです。

「はじまりのはじまり in 藤沢」山内若菜展

時 6月15日12時～20時、16日9時～20時、2日間のみ

場所 藤沢市民会館第一展示集会ホールです。山内は二日間在館致します。

大きな作品「牧場 放」を展示します。

絵本もこちらで出品いたします。

絵本の入手方法はこちらのメールにご申請頂けたらお返事いたします。

メールアドレス

wakanayamauchi0402@gmail.com